研修番号 1	
研修科目名	アサーティブコミュニケーション・ティーチング研修
研修目的	アサーティブコミュニケーションとティーチングの手法を習得することにより、職場内外との折衝や調整に必要なコミュニケーション力と後輩育成力の向上 を図る。
受講対象者	令和8年3月31日現在において満34歳の職員(ライン登用済み職員を除く。) ※該当職員が対象となるステップ1研修の一部として実施
受講人数	約100名
研修希望日	令和8年5月29日(金)
予定実施時間	180分
研修方法	 ・対面による集合研修(大規模会場で実施) ・講義と演習(個人ワークとグループ(2名以上)ワーク)を組み合わせること。 ・グループワークでは、スクール形式のまま(机やいすを動かさない)、左右や前後の職員と組み実施することとし、他者との意見交換からの気づきや学びを得られる工夫をすること。
研修内容	・アサーティブコミュニケーションとティーチングの重要性について理解する。・アサーティブコミュニケーションとティーチングの手法を身につける。
留意事項	 ・中堅職員としての自覚を高められるよう、この階層に相応しい知識・スキルを習得できる内容とすること。 ・単なる知識の習得に留まらず、実践的能力が身につく研修とすること。 ・提案する研修内容に独自の特色ある内容(受講者の「気づき」や「腹落ち」を誘発する特記事項)がある場合は、それを明記すること。

研修番号2	
研修科目名	フォロワーシップ・コーチング研修
研修目的	フォロワーシップとコーチングのスキルを習得することにより、チームの一員として主体的に行動する部下力や後輩の成長をサポートする指導力の向上を図る。
受講対象者	令和8年3月31日現在において満46歳の職員(ライン登用済み職員を除く。) ※該当職員が対象となるステップ3研修の一部として実施
受講人数	約70名
研修希望日	令和8年11月6日(金)
予定実施時間	180分
研修方法	 ・対面による集合研修(大規模会場で実施) ・講義と演習(個人ワークとグループ(2名以上) ワーク)を組み合わせること。 ・グループワークでは、スクール形式のまま(机やいすを動かさない)、左右や前後の職員と組み実施することとし、他者との意見交換からの気づきや学びを得られる工夫をすること。
研修内容	・フォロワーシップとコーチングの重要性について理解する。・フォロワーシップとコーチングのスキルを身につける。
留意事項	 ・組織の中核を担う職員としての自覚を高められるよう、この階層に相応しい知識・スキルを習得できる内容とすること。 ・単なる知識の習得に留まらず、実践的能力が身につく研修とすること。 ・提案する研修内容に独自の特色ある内容(受講者の「気づき」や「腹落ち」を誘発する特記事項)がある場合は、それを明記すること。